



ゴールデンルートの通過点から、地域の魅力を発信！

台湾・香港人向け No.1 訪日観光情報メディア「ラーチーゴー！日本」中部版がオープン
DMO「一般社団法人中央日本総合観光機構」と提携し、訪日台湾・香港人の集客を狙う

台湾・香港向けの訪日観光情報サイトとしてNo.1のユニークユーザー数を有する「楽吃購(ラーチーゴー)！日本」を運営する株式会社ジーリーメディアグループ(本社:東京都渋谷区 支社:台湾台北市、代表取締役:吉田皓一)は、中部運輸局と中部9県の観光地域づくりを推進する広域連携DMO(一社)中央日本総合観光機構、株式会社電通名鉄コミュニケーションズと提携し、**岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の4県を対象**とし、2017年9月14日より台湾・香港人向けの日本観光情報メディア「楽吃購(ラーチーゴー)！日本」の中部版をオープンいたします。

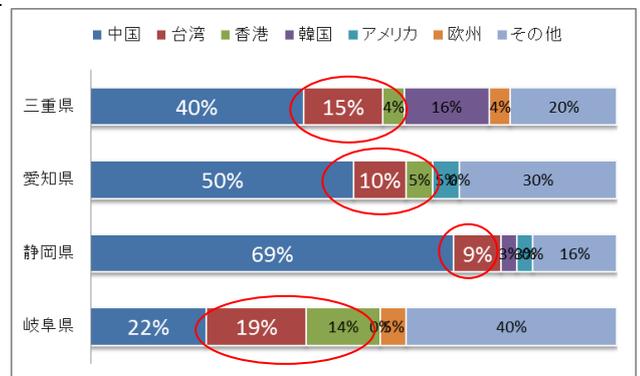
楽吃購！日本 中部版: <http://chubu.letsngo.jp/>

◆課題は、外国人宿泊数が減少傾向にある中部圏

日本を訪れた外国人観光客の数は2016年に過去最高の2400万人以上にのぼり、外国人の宿泊者数も過去最高を記録しました。首都圏と関西圏を結ぶゴールデンルートに次いで、人気を博する中部・北陸地方の昇龍道9県(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県)は、旅の起点として訪日外国人の客数を増やしています。2014年から2015年にかけては外国人延べ宿泊数が315万人増加し、翌年2016年には過去最高の774万人が訪れています。一方で、**中部圏(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、福井県)**では、2015年には過去最高の547万人泊となりましたが、2016年は529万人泊と、18万人泊減少しているのが現状です。

◆リピーター率・個人旅行比率が高い台湾・香港人へのアプローチ

2017年の都道府県別、国籍別外国人延べ宿泊者数構成比をみると、中部圏は中国の割合が高く、続いて台湾と香港が多いことが分かります(図1参照)。台湾・香港人は、訪日リピート率、個人旅行比率が他国籍外国人と比較して圧倒的に高いのが特徴です。そのため観光ニーズは主要都市から地方へ、モノ消費からコト消費へと変化しており、地方を訪れる台湾・香港人はますます増えることが予想されます。今後は、1つの国籍・地域に偏らない、バランスの取れた地域割合を目指すべく、観光コンテンツの充実、二次交通を含めた個人旅行が周遊しやすい情報を提供していく必要があります。



(図1)2017年都道府県別、国籍別外国人延べ宿泊者数構成

◆台湾人目線で「知りたい」情報を発信

台湾・香港人向けの日本観光情報メディア「ラーチーゴー！日本」は、毎月80万人以上に利用されている、台湾・香港最大の日本観光情報メディアです。日本語の翻訳ではなく、全て台湾人のライターがゼロから執筆することで、日本人が伝えたいことを「台湾人の知りたい」内容に変換し「台湾人目線」で記事を発信しているのが特徴です。Facebookページのファン数は60万人を超え、20~30代女性に圧倒的な人気を誇っています。

◆DMO「一般社団法人中央日本総合観光機構」と連携し、中部圏の魅力をアピール

これまで、中部の情報は本サイトの関西版に含まれていましたが、ユーザーから多数のリクエストを受け、一般社団法人中央日本総合観光機構と提携し、中部版として独立することになりました。これに伴い、編集部が新たに中部圏への取材を行い、交通手段のまとめや、グルメ、観光スポットや地元のお得情報など、台湾人ライターの目線でユーザーニーズに応える記事内容を公開しています。

今後も台湾人目線の、中部圏の遊び方、食べ方、買い方情報を発信しながら、観光客を呼び込みたい店舗や施設、自治体や交通機関などと連携し、クーポンの拡充などユーザーに喜ばれる施策を実施し、中部圏へ足を運ぶ台湾人・香港人観光客の増加に貢献してまいります。

(出典)国土交通省中部運輸局観光部・交通政策部「平成29年度 訪日外国人旅行者の消費動向から見る 中部運輸局管内の傾向」/
観光庁 平成27年度「訪日外国人の消費動向」/観光庁「H28年宿泊旅行統計調査」



<参考資料>

「樂吃購(ラーチーゴー)！日本」とは

「樂吃購(ラーチーゴー)！日本」(www.letsgojp.com)は、台湾人・香港人(繁体中国語圏)向けに、日本での遊び方、食、買い物に関する内容を中心に様々な日本の情報を発信している、日本観光情報サイトです。月間約500万PV、80万



樂吃購!日本

ユニークユーザーのサイトに加え、60万人以上のFacebookファンを獲得しており、両地域において非常に高い知名度と人気を持つインバウンドメディアです。2011年のサービス開始以来、北海道、東北、東京、北陸、関西、中部、四国、九州、沖縄など9のエリア版を開設。各地域で訪日台湾人・香港人観光客を呼び込みたい企業や自治体、公共交通機関、団体などと連携し、地元の魅力を紹介しています。

●特徴1:「SNSと連動した話題の拡散」

台湾のFacebook利用率は76%(日本は15.6% *Facebook調べ)であり、世界1位のFacebook大国です。当サイトはそこに着眼し、Facebookのファンページ上に60万人以上のファンを獲得。これは日本人の中で台湾最多のファン数であり、記事が公開されるたびにSNS上で大きな盛り上がりを見せます。

●特徴2:「記事は全て台湾人ライターが取材・執筆」

全て台湾人ライターが執筆する「台湾人目線」の記事であることが特徴です。スタッフの9割を台湾人・香港人が占め、日本語をただ翻訳するのではなく、ゼロから台湾人ライターが記事を取材・執筆します。翻訳した文章とは一味違った現地目線で紹介できるため、日本側の「伝えたい」を、台湾人の「知りたい」に変換して伝えることができます。

●特徴3:「台湾市内にアンテナショップ」

サイトで紹介された商品を台湾で買いたいというサイトユーザーからのニーズにこたえ、「台湾の表参道」といわれる東區エリアに40坪の日本アンテナショップ「MiChi cafe」を2016年3月にオープンしました。店内では商品サンプリングやアンケート収集が可能で、海外展開検討中のメーカーに多くご利用頂いています。また定期的に自治体のイベントを行い、物産展など観光情報を発信しています。併設するカフェでは名産品や日本酒など日本ならではのメニューを提供し好評を博しています。(michicafe.letsgojp.com)



<会社概要>

【社名】株式会社ジーリーメディアグループ

【住所】東京都渋谷区千駄ヶ谷5-20-11 第一シルバービル5F

【代表取締役】吉田皓一(よしだ こういち)

【設立】2013年10月 【資本金】1000万円 【年商】2億円

【事業内容】台湾・香港人向けの訪日観光客向けウェブメディア「樂吃購！日本」(www.letsgojp.com)の運営、台湾市内の日本アンテナショップ「MiChi cafe」の運営、日本ガイドブック作成、台湾メディア・ブロガー誘致など

【実績】日本政府観光局、北海道運輸局、東北観光推進機構、九州観光推進機構、沖縄コンベンションビューロー、青森県、岩手県、宮城県、長野県、神奈川県、埼玉県、千葉県、熊本県、宮崎県、大阪府阪南市、奈良県奈良市、佐賀県有田町、JR東日本、小田急電鉄、成田空港、ホテル・アミューズメント施設など多数

※2015年 日本経済新聞優秀サービス最優秀賞受賞

<代表プロフィール>

吉田皓一(よしだこういち)

1982年生。奈良県出身。防衛大学校を経て慶應義塾大学経済学部卒業後、朝日放送入社。総合ビジネス局にて3年に渡ってテレビCMの企画・セールスを担当したのち退職。2013年ジーリーメディアグループ創業。大学在学中に独学で中国語を習得(漢語水平考試最高級所持)し、中国語に堪能なことから、台湾にてテレビ番組やCM出演、雑誌コラムの執筆なども行う。日本国内においても、台湾香港のインバウンド関連のセミナーに多数登壇。現在は東京と台北を往復しながら、日本の魅力の発信につとめています。



<本件に関する報道関係者のお問合せ>

「ラーチーゴー」広報窓口(株)プラップジャパン内 出元・篠原 TEL:03-4580-9105
ジーリーメディアグループ 広報担当 フルジョウ TEL:03-5925-8611